



校長室通信

小国町立小国中学校

令和 3. 8. 27 (金) No15

文責 狭間卓史



「積み上げる」

夏休みが終わり、今週から二学期が始まりました。この夏の大きな出来事としては、何といたっても東京オリンピックと、現在開催されているパラリンピックがその一つではないかと思われます。この通信の第13号でもお伝えしましたが、ホッケー競技においては、本校卒業生の北里謙二選手と穴井義博コーチが日本代表として出場されました。ちょうど夏休み期間中ではありましたが、本校ホッケー部生徒も、小学生、高校生と共にランチルームに集い、熱心に声援を送る姿がありました。北里さんや穴井さんにとっては、小さい頃からの夢を実現できた最高の時間だったはずですが、モニター越しに声援を送る本校生徒にとってはこれからの夢を思い描く何よりの時間ではなかったのかと思っています。そのホッケー部は先日開催された全日本中学生選手権大会に男女そろって出場し女子チームがベスト16となりました。

また、7月末の県中体連大会に出場したバドミントンクラブは、女子チームが団体優勝、男子チームも準優勝するとともに、個人戦でも女子シングルスで1位と3位、男子ダブルスが2位となり九州大会への出場権を得ました。その九州大会でも女子チームが団体3位となり、全国中体連大会に出場することが出来ました。

他の部活動でも、熊本県吹奏楽コンクールに出場した吹奏楽部が銀賞を獲得する等、各部活動が存分にその力を発揮し、努力の成果を見せてくれました。

学習面においても、9年生を中心に自主学習会に登校し、タブレットドリル等を活用し熱心に学ぶ姿と共に、町民センターで開催された「地域未来塾」では、本校卒業生の波多野遊然さんに学ぶ姿もありました。

例年になく大雨続きの夏休みではありましたが、それぞれの生徒が自分の夢を思い描き、努力する力を育てる様子は、眩しく、嬉しい姿でした。



「対策へのお願い」

本県でも新型コロナウイルス感染症の感染再拡大が懸念される状況です。本校でも感染対策に一層力を入れてこの二学期を迎えています。今後の状況に合わせた対応策も準備して万が一に備えているところです。まずは、日々の確実な検温に加えて、マスク着用と手指消毒の習慣化は一連の取組の土台です。ご家族の皆様の健康観察と併せて、今後ともご理解、ご協力の程をよろしくお願い致します。



【頑張れ先輩！みんなで応援】



【町を挙げて応援していただきました】



【自主学習会・・・自ら学ぶ姿です】



【今年の地域未来塾講師は
本校卒業生の波多野さん】



【登校時検温・・・徹底から習慣へ】